

# ECLIPSE

DVDビデオ・ナビゲーション内蔵  
DVD/CD/MD AVシステム

## AVN5504D

取扱説明書

オーディオ編



お買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときに  
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。



FUJITSU TEN

## 安全に正しくお使いになるために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

## はじめに

本書の見方 .....	6
特長 .....	8
ご使用になる前に .....	10
ディスクについて .....	11
MD について .....	14
液晶パネルについて .....	15
TV について .....	15

## 基本操作

ソースの切り替え方 .....	16
ソースを切り替える .....	16
操作画面の表示 .....	16
各ソースの操作画面 .....	17
音の調整 .....	18
主音量の調整 .....	18
操作音の設定 .....	18
音質の調整 .....	19
音質調整画面の表示 .....	19
Circle Surround II の設定 .....	20
DSP (音場) の設定 .....	21
DSP (音場)	
モードを設定する .....	21
DSP (音場)	
の調整、記憶 .....	21
DSP (音場)	
レベルをリセットする .....	21
EQ (イコライザ) の調整 .....	22
音質を設定する .....	22
EQ カーブの調整、記憶 .....	23
EQ カーブをリセットする .....	23

リスニングポジションの設定 .....	24
音量バランスの調整 .....	25
LOUDNESS の設定 .....	26
サブウーファの設定 .....	26
サブウーファの出力を調整する .....	26

## 画面の調整・設定 .....

画質調整画面の表示 .....	27
ライト点灯時に	
昼画表示にするには .....	28
画面を消すときは .....	28
画質の調整 .....	29
優先画面の設定 .....	30
タッチスイッチの表示切り替え .....	31
画面スイッチの	
表示切り替えについて .....	31
機能スイッチの表示について .....	31
壁紙の設定 .....	32
画面モード切り替え .....	33

## ラジオの操作

### ラジオの使い方 .....

ラジオを聞く .....	34
聞きたい放送局を選ぶ .....	34
手動で選ぶ .....	34
自動で選ぶ .....	34
プリセットスイッチから選ぶ .....	34
放送局を記憶する .....	35
マニュアル (手動) で記憶する .....	35
AUTO.P (自動) で記憶する .....	35
AUTO.P で記憶した放送局を	
変更する .....	35
エリアスイッチについて .....	36
交通情報を受信する .....	36
局名スイッチについて .....	37

ラジオを止める ..... 37

聞きたい曲を探す ..... 43

聞きたいCDを探す ..... 43

### CDプレーヤーの操作

#### CD プレーヤーの使い方 ..... 38

CD を聞く ..... 38

聞きたい曲を選ぶ ..... 38

早送り・早戻しする ..... 39

聞きたい曲を探す ..... 39

同じ曲を繰り返して聞く ..... 39

曲の順番をランダムに聞く ..... 39

CD を止める ..... 39

聞きたい曲や同じ CD を  
繰り返して聞く ..... 43

いま聞いている曲を  
繰り返して再生する ..... 43

いま聞いている CD を  
繰り返して再生する ..... 43

曲の順番をランダムに聞く ..... 43

いま聞いている CD の中から  
ランダムに聞く ..... 43

チェンジャー内全 CD の中から  
ランダムに聞く ..... 43

CD を止める ..... 43

### MDプレーヤーの操作

#### MD プレーヤーの使い方 ..... 40

MD を聞く ..... 40

聞きたい曲を選ぶ ..... 40

早送り・早戻しする ..... 40

聞きたいグループを選ぶ ..... 41

聞きたい曲を探す ..... 41

同じ曲を繰り返して聞く ..... 41

曲の順番をランダムに聞く ..... 41

MD を止める ..... 41

### MDチェンジャーの操作

#### MD チェンジャーの使い方 ..... 44

MD を聞く ..... 44

聞きたい曲を選ぶ ..... 44

早送り・早戻しする ..... 44

聞きたい MD を選ぶ ..... 44

チェンジャー内の全 MD から  
聞きたい曲や  
MD を探す ..... 45

聞きたい曲を探す ..... 45

聞きたい MD を探す ..... 45

聞きたい曲や同じ MD を  
繰り返して聞く ..... 45

いま聞いている曲を  
繰り返して再生する ..... 45

いま聞いている MD を  
繰り返して再生する ..... 45

曲の順番をランダムに聞く ..... 45

いま聞いている MD の中から  
ランダムに聞く ..... 45

チェンジャー内全 MD の中から  
ランダムに聞く ..... 45

### CDチェンジャーの操作

#### CD チェンジャーの使い方 ..... 42

CD を聞く ..... 42

聞きたい曲を選ぶ ..... 42

早送り・早戻しする ..... 42

聞きたい CD を選ぶ ..... 42

チェンジャー内の全 CD から  
聞きたい曲や  
CD を探す ..... 43

MDのタイトルや曲名  
などを表示する ..... 45

MDを止める ..... 45

## TVの操作

### TVの使い方 ..... 46

TVを見る ..... 47

見たいチャンネルを選ぶ ..... 47

手動で選ぶ ..... 47

自動で選ぶ ..... 47

プリセットスイッチから選ぶ ..... 47

チャンネルを記憶する ..... 47

マニュアル(手動)で記憶する ..... 47

AUTO.P(自動)で記憶する ..... 48

AUTO.Pで記憶した  
チャンネルを変更する ..... 48

TV設定画面の切り替え ..... 49

エリアスイッチについて ..... 49

局名スイッチについて ..... 50

音声多重放送を切り替える ..... 50

TVモードを終わる ..... 50

## DVD/VTRの操作

### DVDプレーヤーを お使いになる前に ..... 51

DVDビデオの特長 ..... 51

マルチ音声機能について ..... 51

マルチアングル機能について ..... 51

字幕表示機能について ..... 52

ディスクについて ..... 52

再生できるディスクの  
種類について ..... 52

再生可能なディスクの地域番号  
(リージョンコード)  
について ..... 52

ディスクに表示されている  
マークについて ..... 53

ディスクの構成について ..... 53

操作の流れについて ..... 54

### DVDプレーヤーの使い方 ..... 55

DVDを見る ..... 55

映像を操作する ..... 55

映像を再生する ..... 55

早送り・早戻しする ..... 56

パネルスイッチから  
早送り・早戻しする ..... 56

タッチスイッチから  
早送り・早戻しする ..... 56

映像を一時止める ..... 56

映像を止める ..... 56

ディスクメニューを操作する ..... 57

DVDを止める ..... 57

見たい映像を探す ..... 57

チャプターから探す ..... 57

タイトル番号から探す ..... 58

メニュー番号から探す ..... 58

タッチスイッチの表示を  
切り替える ..... 59

タッチスイッチを消す ..... 59

タッチスイッチの表示場所を  
切り替える ..... 59

画面表示・音声の切り替え ..... 60

アングルの切り替え ..... 60

字幕言語の切り替え ..... 61

音声言語の切り替え ..... 61

DVDプレーヤーの設定 ..... 62

音声言語を設定する ..... 63

コードを入力する ..... 63

字幕言語を設定する ..... 63

コードを入力する ..... 63

メニュー言語を設定する ..... 64

コードを入力する ..... 64

マルチアングル (アングル選択マーク) の表示を設定する .....	64
視聴制限を設定する .....	65
映像出力を切り替える .....	66
言語コード一覧 .....	67
<b>VTR の使い方 .....</b>	<b>68</b>
VTR を見る .....	68
VTR モードを終わる .....	68

<b>ご参考に</b>	
<b>知っておいていただき たいこと .....</b>	<b>69</b>
こんなメッセージが 表示されたときは .....	69
故障とお考えになる前に .....	70
<b>用語説明 .....</b>	<b>72</b>
<b>目的別索引 .....</b>	<b>73</b>
<b>索引 .....</b>	<b>78</b>

**目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索してお使いください。**

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

**本書はやさしく取り扱ってください。**  
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。  
やさしい取り扱いをお願いします。

# 本書の見方

## セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

## 項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

## 操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

## 操作手順

操作の内容です。  
番号の順に操作してください。

## ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

基本操作

### 音質の調整

#### Circle Surround IIの設定

Circle Surround IIは、センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫り感や音響の定位感を再現する機能です。ラジオやTVなどの音声にも適応します。

- 各オーディオの操作画面、またはTV・VTR・DVDの設定画面で、**LOW** にタッチします。
- タッチスイッチにタッチすることにより下記のように切り替わります。  
OFF → Low → Hi
- Low：再現効果が小さい  
Hi：再現効果が大きい  
OFF：機能を解除します。



● Circle Surround IIは、DSPやEQ、POS（リスニングポジション）と同時に設定できません。  
● Circle Surround II、SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。  
● Circle Surround II技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

20

## 音質の調整

## DSP (音場) の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

## DSP (音場) モードを設定する

1 DSP にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
<b>CONCERT</b>	コンサートホール	<b>CLUB</b>	ディスコ、クラブ
<b>LIVE</b>	ライブハウス	<b>THEATER</b>	映画館・劇場
<b>CATHEDRAL</b>	残響音の多い教会	<b>OFF</b>	DSP OFF

## DSP (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードの DSP (音場) をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、**A**、**V** にタッチします。

● 調整レベルは+側、-側各5段階です。

2 調整した音場モードを「ピーツ」と音がするまでタッチします。



## DSP (音場) レベルをリセットする

現在、記憶されている DSP (音場) レベルをメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

1 **OFF** を「ピーツ」と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。



- DSP (音場) レベルを調整中に、別の DSP (音場) モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。
- DSP (音場) は、Circle Surround II と同時に設定できません。

## セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

## 操作画面

操作する画面を表示しています。

## 次ページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。





# 特長

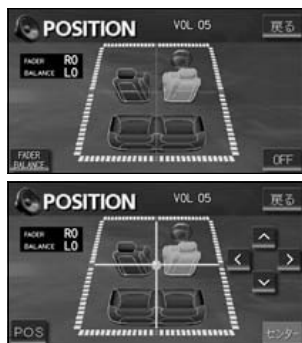
## さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能 (21ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。



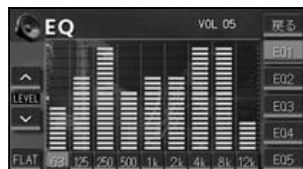
## お好みの場所に音場の中心を設定するPOS、BAL/FAD機能 (24、25ページ)

簡単に音場の中心を設定することができます。また、各スピーカーの音量バランスを調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。



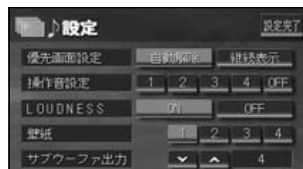
## 緻密に調整できるイコライザ機能 (22ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやお好みに合わせた音質を簡単に選ぶことができます。また、1つの音域を強調することも可能です。



## 壁紙の切り替え (32ページ)

インフォメーション (情報) 画面や、オーディオ操作画面などの背景色をお好みの色に切り替えることができます。



## 美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVDプレーヤー (51ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



## CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生するCDプレーヤー (38ページ)

CD-R、CD-RWに対応しており、パソコンなどで、自分だけのオリジナルディスクを作成し、本機で再生することができます。



## LongPlay方式で記録したMDを再生するMDLP (40ページ)

MDLP圧縮方式で長時間録音されたMDを再生します。

(MDLPは、通常の2倍、4倍の長時間録音することができるモードです。)



## 旅先でも簡単に放送局を探し出すエリアプリセット機能 (36、49ページ)

旅先など、放送局がわからない場所でも、その地域の放送局を表示、記憶することができます。一時的に記憶する機能なので、あらかじめ記憶させていた放送局もなくなりません。



## システムアップ

- CDチェンジャー (42ページ)・MDチェンジャー (44ページ)  
複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。  
また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。
- ビデオ接続コード  
別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

## ご使用になる前に



走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



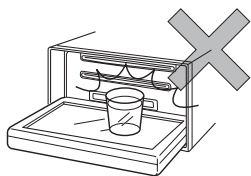
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

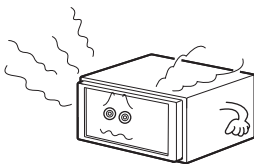
モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



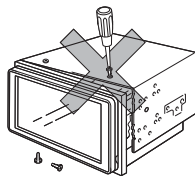
故障の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。

煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。

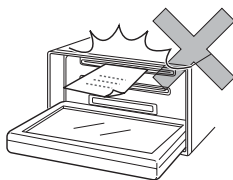


こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。分解、改造はしないでください。



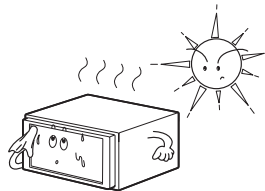
本機内部は、精密な構造になっていますので、万が一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスクおよび“メモリスティック”以外のものを絶対に入れないでください。



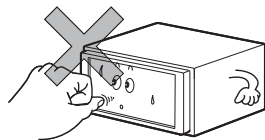
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



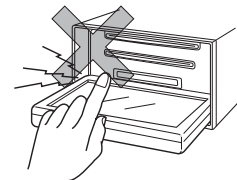
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。

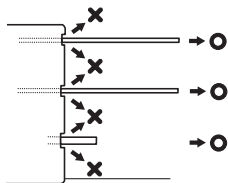


故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスクまたは“メモリスティック”を取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“メモリスティック”を破損するおそれがあります。

## ディスクについて



- 寒いときや雨降りるときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

### 使用できるディスクについて

- 音楽用 CD・映像用 DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。DVD-R/RW (DVD-Recordable/ReWritable)、DVD+R/RW (DVD+Recordable/ReWritable) は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング (VR) モードで書き込まれたディスクは再生できません。



- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RW やUDF フォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RW は再生できません。
- DVD-R/RW (DVD-Recordable/ReWritable)、DVD+R/RW (DVD+Recordable/ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD-R/RW、DVD+R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT 機能は市販のCD-TEXT 対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

# ご使用になる前に



- スーパーオーディオ CD (SACD) はハイブリッドディスクの CD 層のみ再生できません。



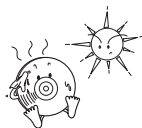
- CCCD (Copy Control CD) は正式な CD 規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- CD-EXTRA は音楽 CD として再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
- Video-CD は再生できません。

## ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



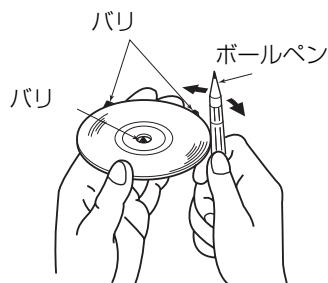
- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。





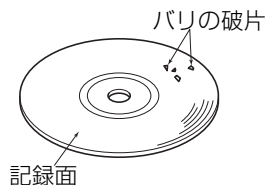
### 新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



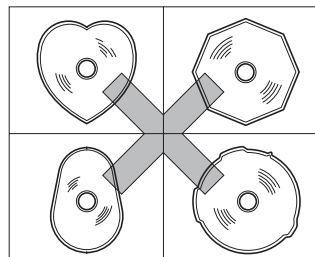
### レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



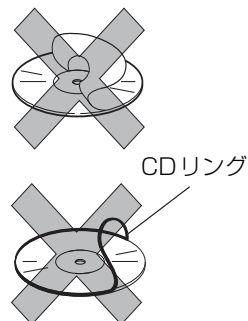
### 特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



### ディスクのアクセサリーについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



# ご使用になる前に

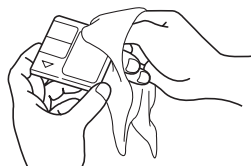
## MDについて



- 寒いときや雨降りのはときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

### MDの取扱いについて

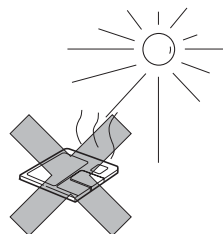
- いつもよい音を楽しむため、定期的カートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



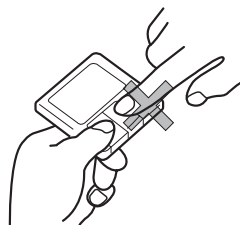
- ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。MDがそり、使用できなくなります。



- シャッターを手であけたり、記録面に触れないように持ってください。MDが汚れ、音とびをすることがあります。



## 液晶パネルについて

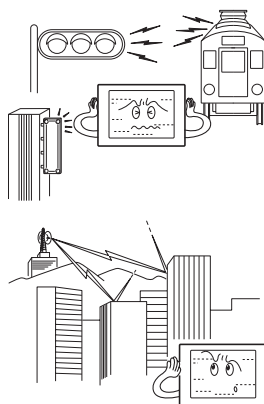


- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあると画面が見えにくくなります。

## TVについて



- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断られたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
  - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



### アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



# ソースの切り替え方

## ソースを切り替える

### ■パネルスイッチから切り替える

1 **SOURCE MENU** を押します。

2 SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示(オンスクリーン表示)されます。



●オンスクリーン画面

### 操作画面の表示

1 **AUDIO CONT** を押します。



### ■タッチスイッチから切り替える

1 オーディオ操作画面、または DVD/TV/VTR 設定画面で、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。



2 SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたソースの操作画面が表示されます。

● ◀ にタッチすると、もとの画面にもどります。



# 各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

## ●AM操作画面



## ●FM操作画面



## ●CDプレーヤー操作画面



## ●MDプレーヤー操作画面



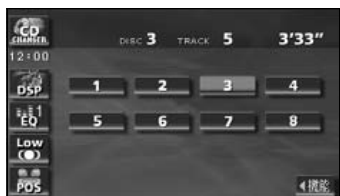
## ●TV操作画面



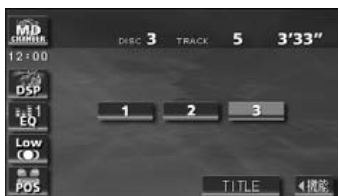
## ●DVDプレーヤー操作画面



## ●CDチェンジャー操作画面 (別売)



## ●MDチェンジャー操作画面 (別売)



「優先画面の設定」(30 ページ) で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20 秒以上(TV・DVD 操作画面では約6 秒以上) 操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

# 音の調整

## 主音量の調整

**1** VOLスイッチを押します。

- 調整レベルは0～80です。

- + (上側) : 音量UP (大きくなる)
- (下側) : 音量DOWN (小さくなる)



## 操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

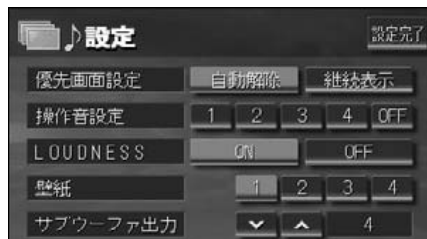
**1** **情報** を押します。

**2** **設定** にタッチします。



**3** 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除(消音)になります。



**4** **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- DVD プレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVD プレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVD プレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のソースでは機能しません。DVD の前に使用していたソースで調整した音量レベルになります。

# 音質の調整

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

音質の調整には、各オーディオモードの操作画面から行うものと、情報画面から行うものがあります。

## 音質調整画面の表示

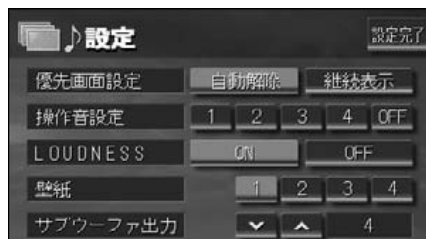
### ■ 操作画面から

TV・VTR 操作画面では **設定**、DVD 操作画面では **NEXT**、**設定** の順にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。



### ■ 情報画面から

**INFO** を押し、**設定** にタッチします。



操作画面や設定画面から下記の設定・調整ができます。

タッチスイッチ・項目	機能	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、イメージに合った音場（演奏会場）を再現することができます。	21
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	22
Circle Surround II	既存のスピーカーシステム（お車のスピーカーが4つの場合）で、簡単に疑似サラウンドを創り出すことができます。	20
POS	人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。	24
FADER BALANCE	前後、左右の音量バランスを調整することができます。	25
LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	26
サブウーファ出力	サブウーファの出力を調整することができます。	26

# 音質の調整

## Circle Surround IIの設定

Circle Surround IIは、センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫力感や音像の定位感を再現する機能です。ラジオやTVなどの音声にも適応します。

**1** 各オーディオの操作画面、またはTV・VTR・DVDの設定画面で、**LOW** にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに下記のように切り替わります。

OFF → Low → Hi



- Low：再現効果が小さい
- Hi：再現効果が大きい
- OFF：機能を解除します。



- Circle Surround IIは、DSPやEQ、POS（リスニングポジション）と同時に設定できません。
- Circle Surround II、SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- Circle Surround II技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

## DSP (音場) の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

### DSP (音場) モードを設定する

1 DSP にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
<b>CONCERT</b>	コンサートホール	<b>CLUB</b>	ディスコ、クラブ
<b>LIVE</b>	ライブハウス	<b>THEATER</b>	映画館・劇場
<b>CATHEDRAL</b>	残響音の多い教会	<b>OFF</b>	DSP OFF

### DSP (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP (音場) をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各5段階です。

2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



### DSP (音場) レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP (音場) レベルをメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 音場レベルが初期値にリセットされます。



- DSP (音場) レベルを調整中に、別のDSP (音場) モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。
- DSP (音場) は、Circle Surround II と同時に設定できません。

# 音質の調整

## EQ (イコライザ) の調整

### 音質を設定する

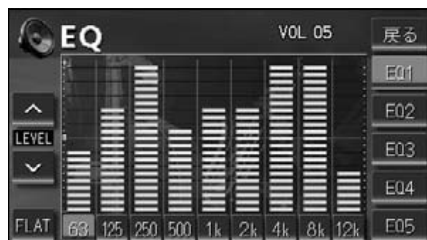
あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 EQ にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPS に効果のあるカーブ
EQ2	ROCK に効果のあるカーブ
EQ3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ5	VOCAL に効果のあるカーブ

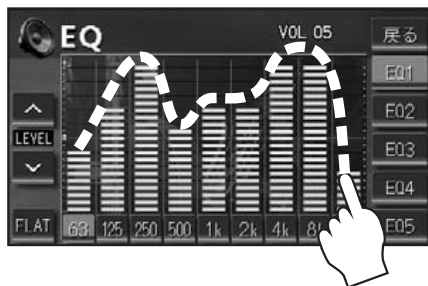


EQは、Circle Surround II と同時に設定できません。

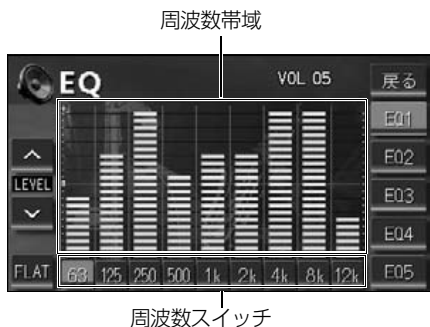
## EQ カーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。

- 1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面にタッチします。



- 微調整するときには、調整したい周波数帯域にタッチする、または周波数スイッチにタッチし、画面左の **▲**、**▼** にタッチします。



- 2 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

## EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

- 1 イコライザカーブを呼び出します。

- 2 **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- イコライザカーブが初期値にリセットされます。



ワンポイント

微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。



# 音質の調整

## リスニングポジションの設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

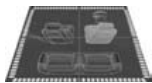
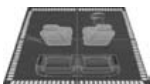
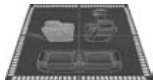
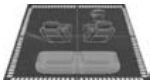
**1** POS にタッチします。



**2** ポジション (シート) にタッチします。

- 設定されたポジションは水色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション (位置)	表示	ポジション (位置)
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場



POS (リスニングポジション) は、Circle Surround II や音量バランス (FADER BALANCE) と同時に設定できません。

## 音量バランスの調整

前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

**1** POS にタッチします。



**2** FADER BALANCE にタッチします。



**3** お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときには、**▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチします。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- **センター** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が0になります。)



ワンポイント

- FADER BALANCE (音量バランス) は、リスニングポジション (POS) と同時に設定できません。
- 微調整時に **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度 **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチしてください。

## 音質の調整

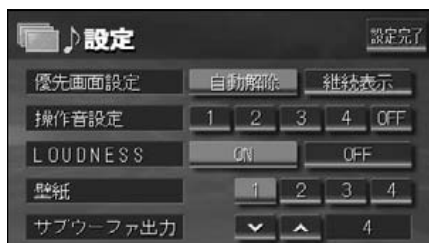
### LOUDNESSの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 LOUDNESSの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

### サブウーファの設定

サブウーファを接続したときの出力調整を設定します。

#### サブウーファの出力を調整する

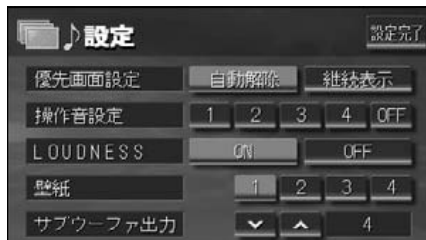
サブウーファの出力レベルを調整することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 サブウーファ出力の **∧**・**∨** にタッチします。

● 出力レベルは4段階の設定ができます。



4 **設定完了** にタッチします。

# 画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV、DVDなどの画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

## 画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV、DVD、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

<オーディオ操作画面>



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

<TV・DVD・VTR画面>



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

# 画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV、DVD、VTR画面で **画質** を押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

## ライト点灯時に昼画表示するには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

## 画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには、**NAVI** を押します。



「優先画面の設定」(30 ページ) で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。

( **画面消** にタッチした状態にもどります。)

## 画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

基本操作

■色合い (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

# 画面の調整・設定

## 優先画面の設定

インフォメーション（情報）画面、オーディオ・TV・DVD 操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、「自動解除」（もとの画面にもどる）、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 **情報** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 優先画面設定の **自動解除**、または **継続表示** にタッチします。

- 各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。

4 **設定完了** にタッチします。



優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。オーディオ操作画面を表示させる場合は、**AUDIO CONT** を押してください。また、ACC をOFF からON にしたときに、オーディオ画面を表示させる場合も、同様に **AUDIO CONT** を押してください。

## タッチスイッチの表示切り替え

### 画面スイッチの表示切り替えについて

オーディオ操作画面や、DVD・TV・VTR設定画面でタッチスイッチを表示させないようにはすることができます。

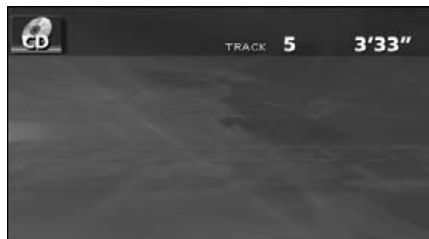
**1** オーディオ操作画面や、DVD・TV・VTR設定画面で、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。

SOURCE MENU 呼び出しスイッチ



- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。



### 機能スイッチの表示について

オーディオ操作画面やTV設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは収納されていて画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

**1** ◀機能 にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各オーディオによって異なります。



- ▶機能 にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを収納してから操作してください。





# 画面の調整・設定

## 壁紙の設定

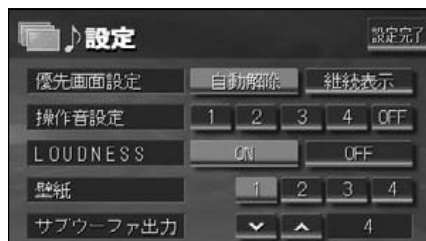
ナビゲーションのメニュー画面やインフォメーション（情報）画面、オーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。

**1** **INFO** を押します。

**2** **設定** にタッチします。



**3** **1**、**2**、**3**、**4** のいずれかにタッチします。



● 選択した画像を表示します。

**4** **設定完了** にタッチします。

## 画面モード切り替え

1 DVD・TV・VTR設定画面で、**ワイドモード** にタッチします。

- ワイドモード切り替え画面になります。
- **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、**NEXT**、**設定** の順にタッチ  
 TV：操作画面で、**設定**、**機能** の順にタッチ  
 VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

- ワイドモードを選択します。



- ワイドモード切り替え画面

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。



### ■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



### ■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



### ■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



### ■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

- ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

# ラジオの使い方



## ラジオを聞く

**1** **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

**2** AMラジオを受信するときは **AM** に、FMラジオを受信するときは **FM** にタッチします。

## 聞きたい放送局を選ぶ

### 手動で選ぶ

**1** **▲/▶▶**、または **▼/◀◀** を押します。

- **▲/▶▶** (上側) : 1 ステップずつ上がる
- **▼/◀◀** (下側) : 1 ステップずつ下がる (1ステップ: AM 9kHz、FM 0.1MHz)

### 自動で選ぶ

**1** **▲/▶▶**、または **▼/◀◀** を“ピツ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

### プリセットスイッチから選ぶ

**1** 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「放送局を記憶する」(次ページ)を参照してください。



ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

## 放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

### マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P**、または **エリア**（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

**1** 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

**2** 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

### AUTO.P（自動）で記憶する

**1** 機能スイッチ表示画面で、**AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

### AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

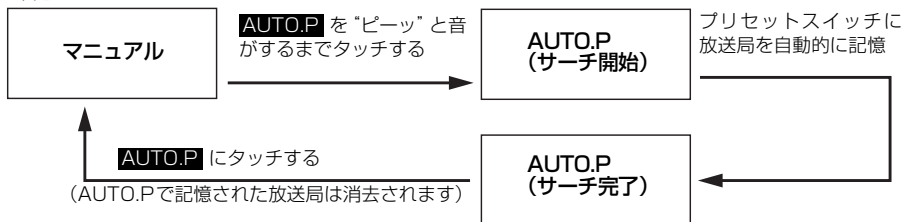
**1** 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

**2** 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

### AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

# ラジオの使い方

## エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 機能スイッチ表示画面で、**エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されません。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。

- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



## 交通情報を受信する

1 **交通情報** を押します。

- あらかじめセットされている交通情報局 (1620kHz) を受信します。
- もう一度 **交通情報** を押すと交通情報画面は解除されます。
- 交通情報の受信周波数を変更するときは、AMラジオモードで周波数を選局し、**交通情報** を“ピッ”と音がするまで長く押します。



ワンポイント

- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定時は 1620kHz にセットしてあります。
- バッテリーなどを交換したときは 1620kHz に戻ります。

## 局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 機能スイッチ表示画面で、**局名** にタッチします。

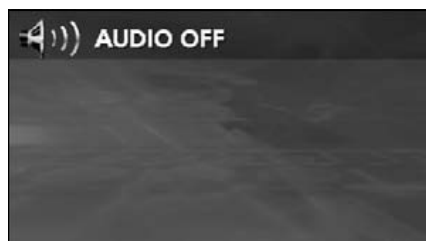
- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。



## ラジオを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



# CD プレーヤーの使い方



## CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 CDが差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

- 2 **CD** にタッチします。

- 再生を始めます。

## 聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 **▲/▶▶**、または **▼/◀◀** を押します。
  - **▲/▶▶** (上側)：次曲を選ぶとき
  - **▼/◀◀** (下側)：前曲を選ぶとき



ワンポイント

- CD-TEXT など、タイトル情報 (タイトルや曲名など) が記録されているときは表示することができます。  
表示文字数は半角文字で最大28文字、全角文字で最大14文字です。  
収録タイトル文字数の多いCD-TEXTでは表示できない場合があります。
- CD-R/RWのCD-TEXTは表示できない場合があります。

## 早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を“ピッ”と音がするまで押します。

- **▲/▶▶** (上側) : 曲を進めるとき
  - **▼/◀◀** (下側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

## 聞きたい曲を探す

1 機能スイッチ表示画面で、**SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度**SCAN**にタッチするとその曲で再生を続けます。

## 同じ曲を繰り返して聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RPT** にタッチします。

- 一度**RPT**にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**にタッチすると解除されます。

## 曲の順番をランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RAND** にタッチします。

- 一度**RAND**にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND**にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

## CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開されず。



# MD プレーヤーの使い方



## MDを聞く

MD差し込み口にMDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 MDが差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

- 2 **MD** にタッチします。

- 再生を始めます。

## 聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 **▲/▶▶**、または **▼/◀◀** を押します。

- **▲/▶▶** (上側) : 次曲を選ぶとき
- **▼/◀◀** (下側) : 前曲を選ぶとき

## 早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

- 1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を“ピツ”と音がするまで押します。

- **▲/▶▶** (上側) : 曲を進めるとき
- **▼/◀◀** (下側) : 曲を戻すとき

“ピツ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



ワンポイント

- MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は、半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示します。
- MDLP方式で録音されたMDは録音状態によって、“LP4(4倍モード)”、“LP2(2倍モード)”を表示します。また、グループを設定している場合は、**GROUP ▲**、**GROUP ▼** を表示します。

## 聞きたいグループを選ぶ

MDLP方式でグループを作成し録音されたディスクはグループ単位で選ぶことができます。また、グループ名が記録されていれば表示します。

1 **GROUP ▲**、または **GROUP ▼** にタッチします。

- **GROUP ▲** (上側)：次のグループを選ぶとき
- **GROUP ▼** (下側)：前のグループを選ぶとき
- 選択されたグループの最初の曲を再生します。

## 聞きたい曲を探す

1 機能スイッチ表示画面で、**SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

## 同じ曲を繰り返して聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** をタッチすると解除されます。

## 曲の順番をランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めていきます。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

## MDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

# CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



## CDを聞く

**1** **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 切り替えスイッチにタッチします。

**2** CDチェンジャー 1 台を接続している場合は **CD CHANGER1** に、CDチェンジャー 2 台を接続している場合は **CD CHANGER1**、または **CD CHANGER2** にタッチします。

## 聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」(38 ページ) を参照してください。

## 早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

## 聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

**1** ディスク切り替えスイッチにタッチします。

● 選択されたCDの番号が反転します。



ワンポイント

- ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- CDチェンジャーにCDが挿入されていない場合には、CDチェンジャーモードに切り替えることができません。
- CDチェンジャーおよびCDチェンジャーデッキが接続されている場合は、**CD CHANGER1**、または **CD CHANGER2** にタッチすると切り替えることができます。

## チェンジャー内の全CD から聞きたい曲やCD を探す

### 聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

### 聞きたいCDを探す

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC SCAN** にタッチします。

- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

## 聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

### いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

### いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

## 曲の順番をランダムに聞く

### いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

### チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

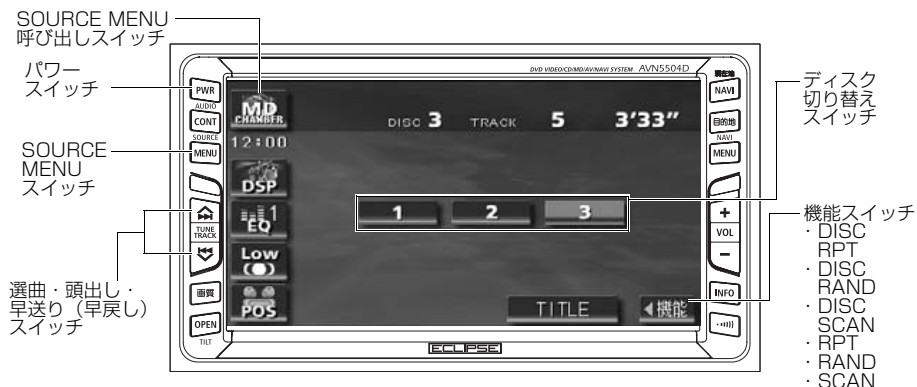
## CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

# MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



## MDを聞く

**1** **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

**2** **MDCH** にタッチします。

## 聞きたい曲を選ぶ

「MDプレーヤーの使い方」(38 ページ) を参照してください。

## 早送り・早戻しする

「MDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

## 聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

**1** ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたMDの番号が反転します。



ワンポイント

● MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。

**TITLE** にタッチすると、半角文字では最大28文字まで表示できます。

● ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

● MDチェンジャーが接続されている場合は、**MD CHANGER** にタッチすると切り替えることができます。

## チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

### 聞きたい曲を探す

「MDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

### 聞きたいMDを探す

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC SCAN** にタッチします。

- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

## 聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

### いま聞いている曲を繰り返し再生する

「MDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

### いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

## 曲の順番をランダムに聞く

### いま聞いているMDの中からランダムに聞く

「MDプレーヤーの使い方」(39 ページ) を参照してください。

### チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

## MDのタイトルや曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチに表示が切り替わります。

## MDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

# TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。)



ワンポイント

- TV 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。  
**AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
  - 地上デジタルテレビジョン放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。そのため、以下の現象が起こる可能性があります。
    - 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
    - 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。
  - また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。
    - チャンネルと放送局名が一致しない。
    - プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
    - プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。
- このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。これらの場合は、AUTO.Pスイッチ(48ページ)や選局スイッチ(次ページ)でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

## TVを見る

- 1 **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 切り替えスイッチにタッチします。

- 2 **TV** にタッチします。

- TV画面になります。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。

## 見たいチャンネルを選ぶ

### 手動で選ぶ

- 1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を押す、または **▲**、**▼** にタッチします。
- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。
- ▲/▶▶ ▲** (上側) :  
チャンネルUP (大きくなる)
- ▼/◀◀ ▼** (下側) :  
チャンネルDOWN (小さくなる)

### 自動で選ぶ

- 1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を“ピッ”と音がするまで押す、または **▲**、**▼** に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。
- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
  - 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

### プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

## チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

### マニュアル(手動)で記憶する

- “AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。
- 表示されているときは **AUTO.P** または **エリア** (49 ページ参照) にタッチすると、AUTO.P または AREA.P からマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。



# TVの使い方

## AUTO.P (自動) で記憶する

**1** **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピピツ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

## AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

**1** 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

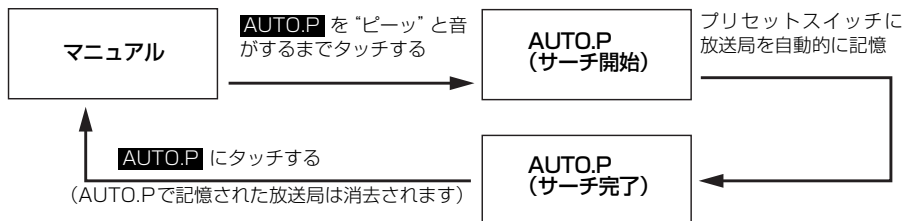
**2** 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

### AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。(このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。) AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルと AUTO.P スイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが 8 局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

## TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
  - ・ エリアプリセット
  - ・ 音声多重放送の切り替え
  - ・ 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

**1** **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。



## エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

**1** 機能スイッチ表示画面で、**エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



TV 設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV 画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

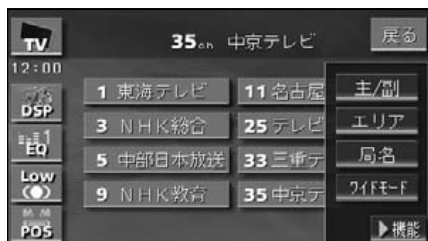
# TVの使い方

## 局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 機能スイッチ表示画面で、**局名** にタッチします。

● 重複した放送局名が切り替わります。

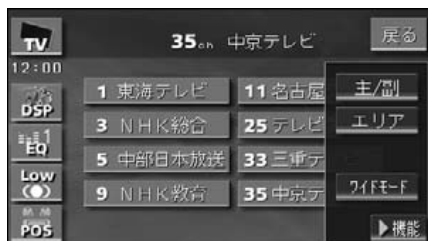


## 音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 機能スイッチ表示画面で、**主/副** をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声  
 MAIN            SUB            MAIN・SUB



## TVモードを終わる

1 **PWR** を押します。

● もう一度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。



- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、**主/副** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

# DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

## DVDビデオの特長

### マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

### マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

# DVDプレーヤーをお使いになる前に

## 字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。




## ディスクについて

### 再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面 1層 2層	< MPEG 2方式 > 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	266分 484分

### 再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。




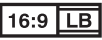





ワンポイント

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

## ディスクに表示されているマークについて

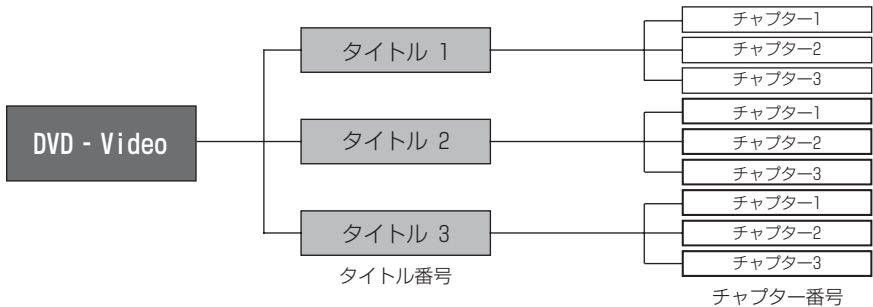
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

## ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



# DVDプレーヤーをお使いになる前に

## 操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

- タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。

### ●DVD操作画面



サーチ



●タイトル画面



設定

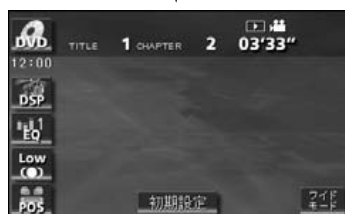


●メニュー操作画面

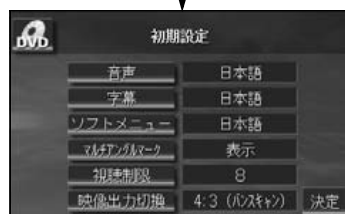
数字



●メニュー番号検索画面



初期設定



●初期設定画面

# DVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。)



## DVDを見る

DVD差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。


- 1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU切り替えスイッチにタッチします。

- 2 **DVD** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、**AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチします。

## 映像を操作する

### 映像を再生する

- 1  にタッチします。



ワンポイント

- DVDプレーヤーモードに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(57 ページ)



# DVD プレーヤーの使い方

## 早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

### パネルスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ▲/▶▶、または ▼/◀◀ を“ピツ”と音がするまで押します。
  - ▲/▶▶ (上側)：映像を進めるとき
  - ▼/◀◀ (下側)：映像を戻すとき
  - “ピツ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

### タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ◀◀、または ▶▶ にタッチします。
  - “ピツ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



## 映像を一時止める

- 1 || にタッチします。
  - 一時停止中( || )に ▶▶ を短くタッチするとスロー再生します。



## 映像を止める

- 1 ■ にタッチします。



## ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

3 **+** にタッチします。



4 **↓** **↑** **←** **→** にタッチし、再生したい映像を選びます。

5 **決定** にタッチします。



## DVDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開（音声のみ）されます。

## 見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

### チャプターから探す

1 **△/▶▶**、または **▽/◀◀** を押します。

- **△/▶▶**（上側）：次のチャプターを選ぶとき
- **▽/◀◀**（下側）：前のチャプターを選ぶとき



ワンポイント

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容に当たって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

# DVDプレーヤーの使い方

## タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

## メニュー番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 DVD 操作画面で **設定** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

- メニュー番号入力画面が表示されます。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

## タッチスイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

### タッチスイッチを消す

1 **ボタン消** にタッチします。

- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



### タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 **NEXT** にタッチします。

2 **+** にタッチします。

3 **パネル** にタッチします。

- タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



# DVD プレーヤーの使い方

## 画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

### アングルの切り替え

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

**1** **NEXT** にタッチします。

**2** マルチアングルが表示されているときに **アングル** にタッチします。

- アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



**3** **アングル切替** にタッチします。

- アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号



**アングル切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

## 字幕言語の切り替え

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

- 字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切換** にタッチします。

- 字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



## 音声言語の切り替え

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

- 音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切換** にタッチします。

- 音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



ワンポイント

- **字幕切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。
- 再生するディスクによっては、**字幕切換** や **音声切換** にタッチしても字幕や音声が切り替わらない場合があります。この場合は、ディスクメニューから字幕や音声を切り替えてください。「ディスクメニューを操作する」(57 ページ)

# DVDプレーヤーの使い方

## DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

**1** **NEXT** にタッチします。

**2** **設定** にタッチします。

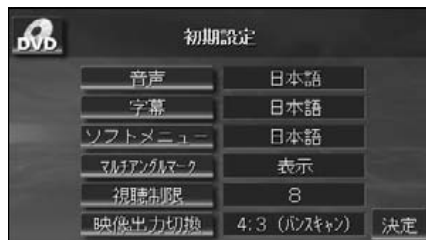


**3** **初期設定** にタッチします。



● 初期設定画面が表示されます。

**4** 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
<b>音声</b>	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
<b>字幕</b>	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
<b>ソフトメニュー</b>	表示するメニューの言語を設定します。	64
<b>マルチアングルマーク</b>	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	64
<b>視聴制限</b>	再生できるDVDビデオを制限します。	65
<b>映像出力切換</b>	画面サイズを設定します。	66



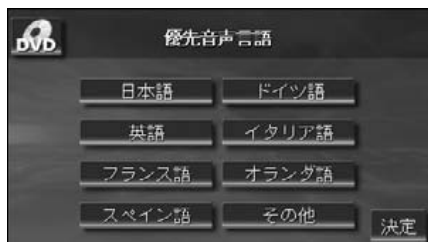
初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ ( **SOURCE MENU** 、 **AUDIO CONT** ) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(55 ページ参照)

## 音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

- 1 初期設定画面で **音声** にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。
- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



## コードを入力する

- 1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。
- 2 言語コードを入力します。
- 言語コードについては「言語コード一覧」(67 ページ) を参照してください。

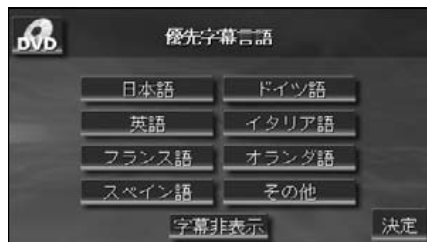


- 3 **決定** にタッチします。

## 字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

- 1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。
- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。
- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



## コードを入力する

- 1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。
- 2 言語コードを入力します。
- 言語コードについては「言語コード一覧」(67 ページ) を参照してください。



- 3 **決定** にタッチします。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。



# DVD プレーヤーの使い方

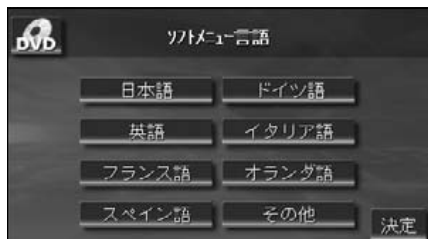
## メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

**1** 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

**2** お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



## コードを入力する

**1** ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

**2** 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(67 ページ) を参照してください。



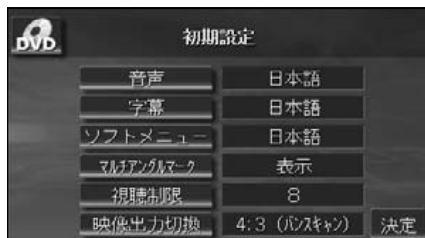
**3** **決定** にタッチします。

## マルチアングル(アングル選択マーク)の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

**1** 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

- タッチすることにより「表示」と「非表示」が切り替わります。



**2** **決定** にタッチします。



ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

## 視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

**1** 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

**2** 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



**3** **決定** にタッチします。

**4** お好みの視聴制限レベルにタッチします。



**5** **決定** にタッチします。



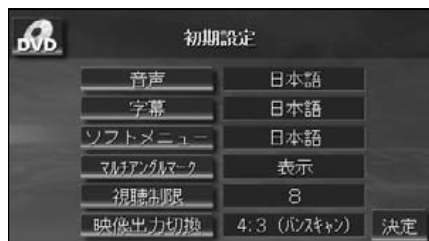
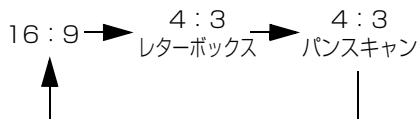
- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
  - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
  - レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
  - レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

# DVD プレーヤーの使い方

## 映像出力を切り替える

**1** 初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。

- タッチすることにより下図の順に画面サイズが切り替わります。



**2** **決定** にタッチします。

- **「16:9」**  
通常のワイドサイズで表示されます。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

- **「4:3 [レターボックス]」**  
上下両端が黒く表示された映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

- **「4:3 [パンスキャン]」**  
左右両端がカットされた映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。



ワンポイント

後席モニターなどの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席モニターで表示されるサイズは異なります。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

## 言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌピアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アプバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストゥ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スンダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスラマ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リトアニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チギリス語
0301	カタロニア語	1309	マオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラーヤラム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタル語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウィ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ペルシア語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベグ語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

# VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。)



## VTRを見る

**1** **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 切り替えスイッチにタッチします。

**2** **VTR** にタッチします。

- VTR画面になります。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

## VTRモードを終わる

**1** **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開 (音声のみ) されます。



ワンポイント

VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。

**AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

# 知っておいていただきたいこと

## こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD 検索中です	CDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
CDをお確かめください ○○枚目のCDをお確かめ下さい	CDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの際は正しく入れてください。
CD (MD) が入っていません	CD (MD) プレーヤーまたはCD (MD) チェンジャーにディスクが入っていないため。	音楽ディスクを入れてください。
MP3が入っていません	CDプレーヤーにMP3ディスクが入っていないため。	MP3ディスクを入れてください。
異常検知でCD (MD) 停止中です※	なんらかの原因でCD (MD) プレーヤーまたはCD (MD) チェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
走行中は音声を お楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてサイドブレーキをかけてからお楽しみください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
ディスクが入っていません	DVD ディスクが入っていないため。	DVD ディスクを入れてください。
異常検知でDVD 停止中です ※1	何らかの原因でDVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD 停止中です ※2	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVD は演奏できません	対応していないDVD を入れているため。	対応しているDVD を入れてください。(11、52 ページ参照)
受け付けられないコードです	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

# 知っておいていただきたいこと

## 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・MD・DVDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・MD・DVDをイジェクトしてから、好みのCD・MD・DVDを入れてください。

症状	考えられること	処置
CD・MD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。(11ページ参照)
	CD・MD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・MD・DVDを入れてください。
	CD・MD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。(12ページ参照)
	CD・MD・DVDが裏返しになっている。	CD・MD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・MD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・MD・DVDを挿入してください。(11ページ参照)
	自動再生されないDVDディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。(57ページ参照)
画面に <b>CD CHANGER1</b> 、 <b>CD CHANGER2</b> が表示されない	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。
<b>MDCH</b> にタッチしてもMDチェンジャーにならない	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	<b>SOURCE MENU</b> を押ししてください。(31ページ参照)
音声は出るが、TV映像が出ない(停車中)	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	<b>TV</b> にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか。 高電圧を発生させて作動するもの(例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの(例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。



## 用語説明

- スーパーオーディオCD (SACD)** 原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD (Direct Stream Digital) 方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。スーパーオーディオCDには以下の種類があります。
- シングルレイヤーディスク  
HD層※が1層のみのディスク
  - デュアルレイヤーディスク  
HD層※が2層のみのディスク
  - ハイブリッドレイヤーディスク  
HD層※とCD層※合わせた2層のディスク
- ※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層  
CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層
- CD-EXTRA** 音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。
- Mixed Mode CD** 音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。
- コピーコントロールCD レーベルゲートCD** パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。
- ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



# 目的別索引

## 画面・音の調整について

### <画面の調整に関して>

#### ■オーディオ操作画面やTV・DVDの画面を見やすくしたい

「画質調整画面の表示」..... P27

#### ■操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

「優先画面の設定」..... P30

#### ■画面を消したい

「画面を消すときは」..... P28

#### ■操作画面などのタッチスイッチを消したい

「タッチスイッチの表示切り替え」..... P31

#### ■画面をワイドモードにしたい

「画面モード切り替え」..... P33

### <音の調整に関して>

#### ■音量をかえたい

「主音量の調整」..... P18

#### ■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

「操作音の設定」..... P18

#### ■音質をかえたい

- マルチチャンネルを擬似的に創り出したい  
「Circle Surround II の設定」..... P20
- 演奏会場を擬似的に創り出したい  
「DSP（音場）の設定」..... P21
- イコライザを調整したい  
「EQ（イコライザ）の調整」..... P22
- 乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい  
「リスニングポジションの設定」..... P24
- 前後左右の音量のバランスを調整したい  
「音量バランスの調整」..... P25

# 目的別索引

## オーディオ関係

### ラジオの使い方について

#### ■ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」..... P34

#### ■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」..... P34

#### ■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」..... P35

#### ■今、いるエリアの放送局を知りたい

「エリアスイッチについて」..... P36

#### ■交通情報を聞きたい

「交通情報を受信する」..... P36

### CD・CDチェンジャーの使い方について

#### ■CDを聞きたい

「CDを聞く」..... P38, P42

#### ■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」..... P38, P42

#### ■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」..... P39

「チェンジャー内の全CD から聞きたい曲やCD を探す」..... P43

#### ■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聞いて聞く」..... P39

「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞いて聞く」..... P43

#### ■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」..... P39, P43

## MD・MDチェンジャーの使い方について

### ■ MDを聞きたい

「MDを聞く」.....P40,P44

### ■ 聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」..... P40

「聞きたいMDを選ぶ」..... P44

### ■ 聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」..... P41

「聞きたいMDを探す」..... P45

### ■ いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聞く」..... P41

「聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く」..... P45

### ■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」.....P41,P45

### ■ MDに記録した情報を表示したい

「MDのタイトルや 曲名などを表示する」..... P45

## TVについて

### TVの使い方について

#### ■ TVを見たい

「TVを見る」..... P47

#### ■ 放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」..... P47

#### ■ 放送局を記憶させたい

「チャンネルを記憶する」..... P47

#### ■ TVの設定画面に表示を切り替えたい

「TV設定画面の切り替え」..... P49

# 目的別索引

## ■今、いるエリアの放送局を知りたい

「エリアスイッチについて」..... P49

## ■今、聞いている音声を切り替えたい

「音声多重放送を切り替える」..... P50

## DVDビデオ/VTRに関して

### DVDプレーヤーの使い方について

#### ■DVDビデオを見たい

「DVDを見る」..... P55

#### ■ディスクについて知りたい

- ディスクやパッケージに表示しているマークの意味を知りたい

「ディスクに表示されているマークについて」..... P53

- 再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」..... P52

- ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」..... P53

#### ■ディスクに記憶されているメニューを操作したい

「ディスクメニューを操作する」..... P57

#### ■再生している映像を操作したい

「映像を操作する」..... P55

#### ■映像を選びたい・探したい

「チャプターから探す」..... P57

「タイトル番号から探す」..... P58

「メニュー番号から探す」..... P58

#### ■タッチスイッチの表示を切り替えたい

「タッチスイッチの表示を切り替える」..... P59

#### ■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

「アングルの切り替え」..... P60

「字幕言語の切り替え」..... P61

「音声言語の切り替え」..... P61

■ プレーヤーの設定について知りたい

「音声言語を設定する」.....	P63
「字幕言語を設定する」.....	P63
「メニュー言語を設定する」.....	P64
「マルチアングル(アングル選択マーク)の表示を設定する」.....	P64
「視聴制限を設定する」.....	P65
「映像出力を切り替える」.....	P66

■ VTRを使いたい

「VTRの使い方」.....	P68
----------------	-----

わからなくてお困りのとき

■ 画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」.....	P69
--------------------------	-----

■ 故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」.....	P70
--------------------	-----

# 索引

## 五十音順

---

### ア

エリアスイッチ .....	36, 49
音質の調整 .....	19
音声多重放送 .....	50
音量バランス .....	25

### カ

画質調整 .....	29
画面の調整 .....	27
画面モード切り替え .....	33

### サ

主音量の調整 .....	18
--------------	----

### ハ

背景画（壁紙） .....	32
昼画表示 .....	28

### マ

マルチアングルマーク .....	64
------------------	----

### ヤ

夜画表示 .....	28
------------	----

### ラ

ラジオの使い方 .....	34
リスニングポジション .....	24

# アルファベット

---

## A

AREA.P ..... 36, 49

## C

CD プレーヤーの使い方 ..... 38

CD チェンジャーの使い方 ..... 42

Circle Surround II の設定 ..... 20

## D

DISC RAND ..... 43

DISC RPT ..... 43

DISC SCAN ..... 43

DSP (音場) の設定 ..... 21

DVD ビデオの特長 ..... 51

DVD プレーヤーの使い方 ..... 55

## E

EQ (イコライザ) の調整 ..... 22

## P

POS ..... 24

## R

RAND ..... 39,41,43

RPT ..... 39,41,43

## S

SCAN ..... 39,41,43

## T

TV 設定画面 ..... 49

TV を見る ..... 47

## V

VTR の使い方 ..... 68



# MEMO

# 富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2004

090002-26960700  
0404C (N)